

独立行政法人地域医療機能推進機構契約監視委員会議事概要

第1回独立行政法人地域医療機能推進機構契約監視委員会が、平成27年6月30日(火)に、当機構本部において開催されましたので、その議事概要について公表します。

開催日・場所	平成27年6月30日(火) 当機構本部
委員 (敬称略)	委員長 辻 雅英 (監事) 委員 石尾 肇 (監事) 委員 梅田 次郎 ※欠席 (行政経営株式会社 まちづくり・行政経営プロデューサー) 委員 中村 彰吾 (公益社団法人医療・病院管理研究協会 常任理事)
審議事項等	1. 報告事項 2. 審議対象 ・競争性のない随意契約 ・前回の入札において一者応札であったもの ・前回の入札において落札率100%であったもの ・入札結果が一者応札となったもの ・入札結果が落札率100%となったもの ・独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について 3. 今後のスケジュール
議事概要	1. 第3回契約監視委員会に係る点検結果の対応状況等について説明。 2. 審議調書について、事務局より説明したところ委員より以下のような意見があった。 ・在宅人工呼吸器、在宅酸素濃縮装置のレンタルについてはヒューマンエラー防止の観点からもできるだけ機種を統一した方が良いということになると、全体を統括して競争入札をかけて割り当てをする等の検討も必要ではないか。 ・保守については製造メーカーやメーカー指定の代理店でなければ出来ないとの思い込みがあるのではないか。製造者による独自性及び提供を行うことか可能な業者が一であることの確認をより詳細に行い、可能な限り競争入札に移行するように検討する必要があるのではないか。 ・医療機器等の購入については、保守料を含めた契約についても検討すべきではないか。 ・日本の医療機械は良質であることからフルメンテナンス契約を毎年するのではなく、スポット契約等の方法も検討すべきではないか。 ・規模の拡大により入札価格の低下も期待できることから、近隣の病院との共同入札についても検討すべきではないか。 ・本部からの指示について正しく行われているかモニタリングをして

検証する必要があるのではないか。

3. 独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について、以下の説明を行って了承を得た。

- ・ 契約監視委員会の設置について
- ・ 調達等合理化計画の点検について

4. 審議結果

- ・ 競争性のない随意契約 757件
- ・ 前回の入札において一者応札であったもの 2件
- ・ 前回の入札において落札率100%であったもの 1件
- ・ 入札結果が一者応札となったもの 204件
- ・ 入札結果が落札率100%となったもの 20件

・ 平成27年5月25日付で総務大臣より「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」について通知があり、調達に関する新たなルールとして、各法人がPDCAサイクルにより、透明性及び外部性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むとともに、主務大臣がこれをチェックする枠組みを整備し、政府全体として調達等の合理化を推進することとされており、調達の現状と要因の分析、重点的に取り組む分野、調達に関するガバナンスの徹底、自己評価の実施方法、調達等合理化の推進体制等を織り込んだ「調達等合理化計画」を策定し、契約監視委員会の点検を受けた上で7月末までに公表するよう指示があった。

同計画については現在作成中であるが、近日中にお諮りしたいと考えている旨、報告され了承された。

5. 今後のスケジュールについて、次回第2回委員会開催は平成27年9月29日（火）に決定した。

以上

【問い合わせ先】

独立行政法人地域医療機能推進機構
契約監視委員会事務局（内部監査室）
電話03-3445-2387